

2019年4月29日

あおぞら投信株式会社

「人により 昭和平成 後にして

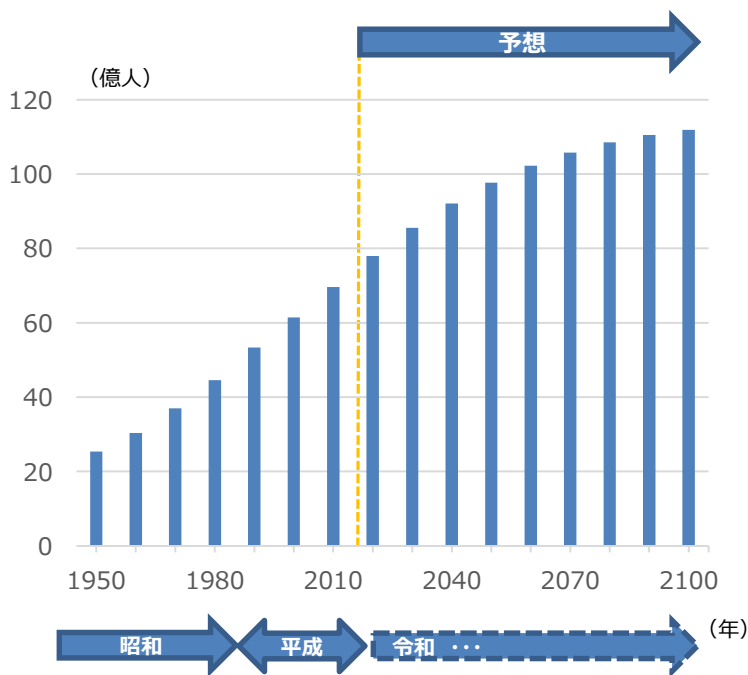
前例はなし 異なる時代」

新たな時代が始まる時に、人心一新の機会として、組織が変わることも、あるいは人が代わることもあると思います。今日(4月29日)は“昭和の日”であり、同時に平成も残すところ後2日で令和を迎えます。昭和という時代は1926年(昭和元年)12月25日から1989年(昭和64年)1月7日まで激動の20世紀の大半を占める元号です。そして平成の時代に21世紀が始まり変化のスピードは加速しました。では令和はどのような時代になるのでしょうか。

ひとつのヒントは人の活用だと思います。日本の歴史の中で、現代に通じる中央集権の土台を作ったのは徳川家康からの江戸時代だと思います。この家康の時代の前は戦国時代であり、戦いの時代という印象が強いかと思いますが、この戦国時代にも新しい考え方が生まれていました。それが人材活用です。領地などを巡り敵味方に分かれて戦った後に、勝者が敗者を生かすことにより人材の有効活用をしていたのです。現代社会は様々なエリアでの競争があります。ここでも勝ち負けは生まれますが、次の瞬間には勝者と敗者の逆転もあり得るという発想です。これからは益々ひとりひとりが柔軟な発想で成長を続けることが肝心であり、自分の生きる力が他人の力になり得るということです。この考えに繋がるもうひとつのヒントは“持続可能な社会”だと思います。地球規模の気候変動など、人間が自然に与える影響を考えながら共生していく方法を考え実行する時代なのです。21世紀から次の世紀へと繋げるためにも、今こそその基礎を作るべきなのだと思います。日本からの発信力も令和の時代における大いなる期待だと考えます。

柳谷俊郎

世界人口の推移 (1950年~2100年)



Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) *1



- 1. People 人間
- 2. Planet 地球
- 3. Prosperity 繁栄
- 4. Peace 平和
- 5. Partnership パートナーシップ

※2010年以前は概算値、2020年以降は中位推計値となります。

*1: 2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の目標と169のターゲットがあります。

出所: 国際連合「The 2017 Revision of World Population Prospects」、総務省「持続可能な開発目標 (SDGs)」および各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>